



来場者にこづゆを振る舞う女将ら



起き上がり小法師の絵付けに挑戦する子どもたち

女将たちによるおもてなし

町営牧場で「おかめの会さくら祭り」

町内の旅館やホテルの女将でつくる「おかめの会」と町商工会翁島支部は5月6日、町営牧場で「まきばのさくらロードおかめの会さくら祭り」を開きました。

ことしで4回目の開催となり、会場では、女将らが来場者にこづゆを振る舞ったほか、青木宗寛社中による野だてやオールディーズバンドの演奏、地元野菜の販売などが行われ、訪れた花見客らを楽しませました。同会の星久子会長は「桜の開花が早くて葉桜になってしまいましたが、多くの皆さんにおいでいただきました。ことしは子どもたちも楽しめるように、起き上がり小法師の絵付け体験など工夫しました」と話しました。

【VOICE】

孫たちが帰省したので一緒に来ました。こづゆはとてもおいしかったです。新鮮な野菜の販売もあり、盛りだくさんの内容でとても楽しいイベントですね。



吉崎ミナ子さん(左・不動)

ゲレンデ逆走マラソンが開幕

お花見&猪苗代湖一望レースを開催

スキー場のゲレンデを駆け上がる「ゲレンデ逆走マラソン 2016」の開幕戦「山頂がゴール！お花見&猪苗代湖一望レース」は5月5日、グランドサンピア猪苗代リゾートスキー場で開かれました。

レースは10キロと5キロの2部門で競われ、県内外から集まった約340人の選手たちが猪苗代湖を眼下に望むコースを力強く駆け抜けました。

ゲレンデ逆走マラソンは、東京電力福島第一原発事故の風評被害払拭などを目的に開催され、昨シーズンは延べ1600人が参加しました。今シーズンは町内の6スキー場を舞台に全6戦が繰り広げられます。



10キロの部はゲレンデを3回登る過酷なコース。選手たちには下り坂も待ち受ける。



10キロの部をスタートした選手たち。文字どおり急なゲレンデを「逆走」する

【VOICE】県外から参加

藤原伴和さん(右=埼玉県) 初参加

川平啓太さん(左=茨城県) 初参加

(藤原さん)10キロの部に参加しました。舗装道路のアップダウンで練習してきましたが、想像以上にきつかったです。(川平さん)最後の急な坂がとても苦しかったです。初参加でしたが、ゴール後の達成感があり、とても良かったです。



企画展について説明する森田学芸員(左)と同館広報大使の「ヒディ」



Pick Up

今月のイベント

野口英世記念館 初公開資料展

野口英世記念館では、福島県観光キャンペーン2016(アフターD.C.)に合わせて企画展「初公開資料展・新資料にみる野口英世」を開催しています。初公開資料の一つは、野口英世がアメリカのロックフェラー医学研究所で撮影した3465枚の写真です。当時はまだフィルムが普及していなかったため、ガラス乾板に撮影していました。とりわけ、1913年に発表した梅毒スピロヘータの研究論文に掲載された顕微鏡画像の原本とみられる写真は、貴重な資料となっています。

また、野口英世は1899年、北里柴三郎博士の推薦により、国際予防委員会メンバーに選ばれます。ペストの防疫活動のため、清国・牛莊(現在の遼寧省営口)に渡りました。この初めての海外渡航で使用したパスポートも展示されています。野口英世は23歳にして旅券を手に、世界へと歩みだしました。まさに、世界の医学者、野口英世の第一歩です。

同館の森田鉄平学芸員は「野口英世の研究成果が証明される歴史的な資料を見ることができるので、町民の皆さんにもお越しいただきたい」と話しました。この企画展は、6月30日まで開催しています。

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

May.2016
6
No.668

今月の表紙



【撮影日】 5月19日
【撮影場所】 アグリいな

千里小学校5年生24人は、総合的な学習の時間の一環として田植えに挑戦しました。黙々と苗を植えていた吉野綾人さんは「腰が痛くなる」と農作業の大変さを感じていた様子でした(関連13ページ)

Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 おかめの会さくらまつり／ゲレンデ逆走マラソン
- 04 写真特集 町内小学校運動会
- 06 第59回磐梯山山開き
- 08 まちのわだい
- 12 笑顔でこんにちは／サークル紹介
- 13 スクールトピックス／ホットニュース
- 14 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー